

体験談 2

『知的 グレーゾーン』

療育手帳の B2 を持つ長男は、特例子会社に就職しようとしています。

彼の特徴は、のんびり屋さん。

幼稚園までは 心配しながらも何とかなっていました。しかし 小学校に上がると 段々付いていけなくなっていき、担任に通級教室を勧められました。

彼も私も楽しく通っていましたが、仕事の都合で習志野市へ引っ越すことに。

転校先で彼と話した担任は、知的に問題ないと言い 普通学級のための学習になりました。しかし 次第に 同級生からイジメられるようになってきました。

この辺りが 私達のターニングポイントになります。

ある時 先方の母親から電話で、「貴女は子供を甘やかしている。学校で泣かれるとウチがイジメているように見えるから、泣かないように指導して欲しい。」と言われて絶句しました。

どちらかと言えば スパルタ教育でしたから。

そこで 市の総合教育センターへ電話して、カウンセリングの後、IQ テストを受けました。結果は知的障害に近いグレーゾーンでした。

ショックと言うより やっぱりな という感じでした。

そこから私の腹も決まり、中学校の特別支援学級に相談→見学→本人の意思確認→入学。と順調に進んで、特別支援学校の高等部へと進学しました。私も安心でしたが、長男本人が自信を取り戻し 楽しく学校生活を送れた事が 就職にも繋がっていると感じます。

私をもっと早く勇気を出して相談に行ったり 指導方法を学んでいたら…と考える事もあります。同じ不安を持っている お母さん達の背中を押せたらと筆を取らせていただきました。

